

質問通告・内容一覧表

議会傍聴者用

質問順	質問議員	通告の標題・内容
1	清水浩徳	<p>◎ 鹿追町地域防災計画について</p> <p>昨年発生した北海道胆振東部地震時に「北海道社会福祉協議会」が運営する「災害ボランティアセンター」が開設された。</p> <p>ボランティアセンターは行政の災害対策本部との連携により設置するボランティアの本部となり、被災地におけるボランティアの拠点にもなる。</p> <p>鹿追町社会福祉協議会は平成29年に北海道災害ボランティアセンターと協定を結び被災地に職員を派遣しているが、鹿追町防災計画には鹿追町社会福祉協議会との連携等の大綱が明確に示されていない。</p> <p>鹿追町社会福祉協議会と災害救援活動の支援に関する協定を結び、大規模災害発生時に円滑な活動ができる態勢を整えておく考えは。</p>
2	狩野正雄	<p>◎ 農業基盤整備の進捗状況について</p> <p>瓜幕地区で明渠排水路の整備工事が進められているが、農業基盤整備の計画や進捗状況、基幹産業としての考え方・将来展望をどのように考えるか。</p> <p>(1) 瓜幕地区明渠排水路の今年度の工事計画と完成予定は。</p> <p>(2) 過去に農業基盤整備事業がなされなかった圃場の整備工事等はどのように行うか。</p> <p>(3) 労働力の確保、農業基盤整備の進め方や将来展望をどう考えるか。</p>
3	畑 久雄	<p>◎ わが町の観光はこれで良いのか</p> <p>町内観光地の名称・撮影スポットの表示が分かりにくい、時計が壊れたまま等、観光客にとって不便な状況が見受けられる。</p> <p>関係機関と積極的に協議し、各観光地に適した対処をする必要があると考える。</p> <p>(1) 観光会議のその後の状況と今後の活動は。</p> <p>(2) 関係機関との協議内容は。</p> <p>(3) 観光客の立場からみた対策が必要では。</p>

質問順	質問議員	通告の標題・内容
3	畑 久雄	<p>◎ 観光活性化のため、道の駅について</p> <p>市街地発展のために「重点道の駅」を目指すことは重要な課題と考える。</p> <p>道の駅しかおいの周辺には多くの公共施設もあり、道の駅の存在は欠かせない。沿線の国道を拡幅し、観光入込客数増の対策を講じる時期と考える。</p> <p>(1) 企業支援、企業力強化等に係わる具体策は。</p> <p>(2) 道の駅検討委員会設置の考えは。</p>
4	山口優子	<p>◎ 学童保育所の建設予定の延期について</p> <p>現在建設中の「認定こども園しかおい」に隣接する形で設計され、建設計画があった学童保育所が、3月の時点で工事着手時期が未定であった。前町長は、新執行体制で考えていただきたいとのことであったが、建設予定時期についてどのように考えるか。</p> <p>◎ 新こども園・小・中学校の周辺道路における通学路の交通安全確保について</p> <p>ストニィプレイン通りを含む国道から農協への道路沿いに、学校や公共施設等がたくさん建っている。新しいこども園、子育て支援センターも建設され、今まで以上に歩行者や車の数が増えると見込まれている。</p> <p>横断歩道の必要性、スクールゾーンや注意看板の設置、大型車両の規制などについて、今後検討・協議していくとのことであったが、今後のストニィプレイン通りの交通安全確保についてどのような対策を考えるか。</p>
5	台蔵征一	<p>◎ 人口対策に貢献している自然体験留学の推進と鹿追高校2間口維持のための女子寮の考えは</p> <p>瓜幕自然体験留学制度は多くの小中学生を受け入れ、学校の存続と地域の活性化に寄与している。</p> <p>平成4年に既存施設を改修して留学センターをスタートさせたが、老朽化のため毎年修理をしながら使用している状況である。</p> <p>留学生の中に鹿追高校への進学を望む生徒も増えてきた。</p> <p>(1) 自然体験留学制度の今後の推進の考えと、留学センターの改築の方向性は。</p> <p>(2) 高校の維持・存続に貢献している留学制度の継続と、町内外の生徒を確保するための女子寮建設の考えは。</p>